

安 全 宣 言

今年で 94 回目となる全国安全週間は、昭和 3 年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な理念の下、「労働災害を防止するために産業界での自主的活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられています。

この間事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しているが、令和 2 年度の労働災害による死亡者数は 3 年連続で過去最少となる見込みです。

一方、休業 4 日以上労働災害による死傷者数の分析では、高齢者の労働災害、転落災害や『動作の反動・無理な動作』による労働災害が年々増加していることに加え、新型コロナウイルス感染症に伴う労働災害の増加も見受けられます。

このような状況を踏まえ、働く高齢者の増加や、新型コロナウイルスの感染症対策等の社会情勢の変化に対応し、アフターコロナを見据えた持続可能な安全管理を継続して実施していくことにより、すべての働く方が安全に働くことのできる職場の実現に努めます。

本年も

「持続可能な安全管理 未来につなぐ安全職場」

のスローガンを基本に、次の 3 つの事項を重点的に実施します。

1. 工事に従事する作業者の安全衛生教育等の徹底。
2. 組合員のウイズコロナ時代での安全意識の高揚。
3. 指差し呼称の徹底と、声掛け活動の実施。

以上、三つの事項の徹底を図り、全会員一丸となって労働災害撲滅を期する事をここに宣言する。

令和 3 年 8 月 6 日

富 山 県 空 調 衛 生 工 事 協 同 組 合

防災・安全委員長 吉枝 貴之